

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 平成30年度

法人名	社会福祉法人 国見慈光会	代表者	出見敏枝	法人・ 事業所 の特徴	福井市の国見地区は人口1100人程度、高齢化率は41%と小さい地域で、高齢者の割合が非常に多い地域である。当法人は、その国見地区を中心に川西圏域を利用対象範囲にしているが、登録利用者の7割は国見地区の利用者である。その他も越廼地区と鷹巣地区の利用者で占めており、地域との結びつきが非常に強い事業所である。その為、利用者さん同士古くからの知り合いである事も多く、サロンのような雰囲気に近い。また、風光明媚な場所に立地しており、豊かな自然の中で、四季を感じながら、家族的な温かさを大切にしている。四季を通じて、外出し自然を楽しめるようにしている。玄関や入り口に鍵をかけず、自由に施設内を移動できるようにしている。食事は冷凍食品などをほとんど使用せず、旬のものを取り入れ、手作りしている。その為、細かいニーズに柔軟に対応出来る事が強みである。なじみの地域で認知症や障害を持って、その人らしい生活が継続出来るよう職員全員が取り組んでいる。
事業所名	ひびきの家	管理者	斉藤浩二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	0人	1人	1人	0人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護サービスの流れを理解し、その流れに沿ってサービスを提供しているという意識が弱く、それが、感覚で実践している原因になっている。その為、ケアプランの（ライフサポートワーク）作成等を行ってもらい、プランに基づいてサービスを実施するという意識の定着を図る。	ライフサポートプランの日常的な情報の更新を職員にも記入してもらい利用者の詳細な情報も残すように心がけた。比較的自由にメモのように情報を書けるようにした。	しっかり皆と話し合い、計画に対するの取組みが出来ているというお言葉を頂いた。	今年度はプランを立てる意義をスタッフの半分は理解できた。来年度は、プランを作るための情報収集をプランに反映する為、収集した情報をしっかり残すことが出来るようになる。
B. 事業所のしつらえ・環境	良い評価を頂いたので、今後も現在の建物の清潔状態を維持し、過ごしやすい空間作りを継続していく。	花を置いたり、季節を感じられるものを飾ったりした。利用者同士の関係性などもあり、その都度その都度皆が過ごし易い空間作りを考えた。	鍵が開いていても安全なのか？鍵を開けておくのは良いが、大変ではないのか。	清潔や座る席、利用者さんの相性なども含めて、利用される方々が、快適に過ごせる空間作りをその都度考えていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との行事に職員と一緒に参加することを検討し、出来そうなものがあれば参加し地域との関わりをより密にしていく。	職員の人手不足などの問題もありマンツーマンで行事の参加をするというのが難しい面もあった。	地区の体育祭や祭り等も利用者さんで参加できる競技もあるのでそういった事にも職員と一緒に参加するのも良いのではないかと意見を頂いた。	国見地区の地域の奉仕作業を地域ごとに職員が分担して出向く。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今までの関わりを継続しつつ、地域との行事に職員と一緒に参加することを検討し、出来そうなものがあれば参加し地域との関わりをより密にしていく。	地域の行事には職員と一緒に参加できない事も多かった。本人のみが参加できるような行事には地域の人と調整しながら参加出来るようにし、地域とのつながりを絶たないような支援は行った。		今後も継続して、地域の行事に参加したい利用者がいれば引き続き調整を行って、介護サービスを利用したとしても、地域との関わりが切れないように援助していく
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も更に地域の方との関係が深まるように運営推進委員会の開催を継続して地域内での意見交換が活発に行えるようつとめる。定期的に応報誌の内容の精査を行ってより地域の方が知りたい情報を書けるようにしていく。	今年は、ピンポイントで地域の利用者の心配な点を運進の議題としてあげさせてもらった。事業所だけで抱えこまず、地域にも利用者の課題を明らかにすることで地域の方にも利用者の支援に参加してもらうように働きかけた。	運進の場で避難訓練を地域で合同で行なうなどの話がでたり、広報誌の内容に関する提案が出たりと有効に話し合いがなされていると思う。	今後も運営推進委員会の場で事業所だけで解決出来ない利用者の課題などを話し合っていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	今後も地域の防災拠点としての周知行い受け入れが出来るよう、設備の充実を行う。	台風時に避難所として地域住民からの要請もあったので、災害時に公民館以外でも避難所的な施設として利用できるよう広報誌などで周知を行った。	防災関係の話は良く議題に上がるが、皆に周知されているとはいえないのでは？もっと広報誌を使ってアピールしてもいいかも..	引き続き、介護施設だけでなく災害時に避難所として使えることが出来る事を広報していきたい。

